

優良米の早期開発試験プロジェクトチーム

第II期（昭和62～平成5年）高度良食味米品種の開発試験研究成果

目 次

I 優良米の早期開発試験 第II期	
高度良食味米品種の開発試験の経過と試験構成	1
1. 優良米の早期開発試験第1期の成果概要と残された課題	1
2. 優良米の早期開発試験第I期成果としての育成品種とその普及状況	3
3. 高度良食味米品種の開発試験の構成と目標	5
II 試験結果	7
1. 育種年限短縮	7
(1) 世代促進と育種年限短縮	7
1) 鹿児島県	7
i 中央農試	7
ii 上川農試	10
2) 沖縄県	12
i 沖縄県経由集団後代の経過と選抜有望系統	13
ii 中央農試	13
iii 上川農試	17
(2) 薬培養	20
1) カルス形成および植物体再分化	20
2) 再分化植物および後代系統の選抜経過	20
3) 主要育成系統の特性概要	21
4) 薬培養法の育種的利用上の問題点と今後の課題	21
2. 良食味系統選抜	22
(1) 有用遺伝子活用の強化	22
1) 中央農試	22
2) 上川農試	33
3) 道南農試	37
4) 低アミロース材料（ダル突然変異系統）の利用	38
i 中央農試	38
ii 上川農試	43
3. 食味検定	45
(1) 食味特性分析	45
1) 食味特性選抜の成果	45
i 中央農試	45

ii 上川農試	49
iii 道南農試	51
2) 有望系統の食味特性	52
i 中央農試	52
ii 上川農試	54
iii 道南農試	54
(2) 食味総合評価法の確率と貯蔵特性の究明	57
1) 食味総合評価法の確立	57
2) 貯蔵特性の究明	61
 III 第II期の成果のまとめと将来展望	71
1. 育種年限短縮	71
2. 良食味系統選抜	73
3. 食味検定	75
4. 成果のまとめと将来展望	76